

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

事業名 岐阜県産業教育振興会補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 学校支援課 産業教育係 電話番号：058-272-1111 (内 3612)

E-mail：cl7782@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,120 千円 (前年度予算額：1,120 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,120	0	0	0	0	0	0	0	1,120
要求額	1,120	0	0	0	0	0	0	0	1,120
決定額	1,120	0	0	0	0	0	0	0	1,120

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

岐阜県産業教育振興会は、産業経済界及び教育関係者の協力により産業・技術教育の振興を図ることを目的とするもので、優秀な人材の県内就職推進に向けた取組として、県内企業の情報誌「職場ガイドぎふ」刊行、部会事業、全国及び東海地区における研究会・協議会への助成、各種表彰を実施。

(2) 事業内容

①産業教育振興事業

- ・各部会事業 (部会総会、研究活動、事業所見学・教員研修、機関誌発行等)
- ・専門高校PR事業
- ・岐阜県産業教育振興会総会 (専門高校の学びについて生徒発表等)

②県内就職推進事業

- ・県内企業情報誌「職場ガイドぎふ」の刊行とホームページ掲載

③表彰

- ・産業教育中央会表彰、産業教育功労者表彰、優良卒業生表彰、県内就職推進優良校表彰

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担 10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	1,120	産業教育振興事業、県内就職推進事業、表彰等への支援
合計	1,120	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第3次岐阜県教育ビジョン

基本方針1 ギフへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成

目標5 産業教育の推進

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	岐阜県産業教育振興会補助金
補助事業者（団体）	岐阜県産業教育振興会 （理由）産業経済界及び教育関係者の協力により産業教育の振興を図る団体のため
補助事業の概要	（目的）産業経済界及び教育関係者の協力により産業教育の振興を図り、優秀な人材の県内就職を推進する。 （内容）産業教育振興事業、県内就職推進事業、表彰等を実施する。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 （内容）予算の範囲内 （理由）振興会事業費の一部を支援するため
補助効果	・就職希望者に対して有為な県内企業の情報を提供 ・県内就職率を高め、地域産業の活性化を図る。 ・企業と教育機関との間で育成すべき人材像を協議
終期の設定	終期 令和4年度 （理由）前年度の実績を勘案し、検討する。

(事業目標)

- ・終期までに何をどのような状態にしたいのか
産業経済界及び教育関係者の協力により産業教育の振興を図り、優秀な人材の県内就職を推進し、一定数を保持する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度	R3年度	R4年度	終期目標	
		実績	目標	目標	(R4)	達成率
① 県内企業情報誌「職場ガイドぎふ」発刊内容の一部をWeb対応ページ作成、配信	/	1,150部 1サイト	1,150部 1サイト	1,150部 1サイト	1,150部 1サイト	100% 100%
② 県内就職率（学校基本調査）	/	73.9%	80%	80%	80%	92.3%

	H30年度	R元年度	R2年度
補助金交付実績	1,120千円	1,120千円	1,120千円

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内企業を紹介した「職場ガイドぎふ」を発刊（新たにW e b 対応ページを作成）・ 配付し、県内中学校、高等学校、大学、関係機関等に情報発信 ・ 専門高校のP R ポスター、リーフレット等を作成し、県内中学校に配布 ・ 職業学科の優良卒業生の表彰
	指標① 目標：100 実績：100 達成率：100%
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価)	産業界との連携により、産業教育の充実と振興を図り県内産業界の求める人材育成を行う体制を整えるため。
3	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50~100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満） 	
(評価)	県内企業紹介誌「職場ガイドぎふ」の高等学校等へ配布、総会等において専門高校での学習成果の発信などにより、県内就職率を高水準に保っている。
3	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価)	経費節減を図り、効率的、効果的な会運営に努めている。
2	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>県内企業会員の産業教育に対する期待は大きく、今後は少子高齢化の進行により地域産業の担い手減少がさらに進むことは必至であり、本県産業の維持・発展に貢献する専門的な知識・技術をもった職業人の育成は、喫緊かつ重要な課題である。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>継続・削除・統合・廃止</p> <p>(理由) 県内就職率は、目標値の80%の達成には至っていない。地域産業の担い手育成を維持するためにも、産業教育振興会が核となり当事業を継続し、地域・企業と専門高校が連携して、担い手育成を推進する必要がある。</p>
--